

質問紙調査の結果<学校質問紙>

<<学習態度に関する質問>>

■授業中私語なく落ち着いてる児童生徒の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	14.3	ポイント 減少	昨年度との比較	16.6	ポイント 上昇
全道との比較	6.0	ポイント 低い	全道との比較	2.5	ポイント 高い
全国との比較	1.9	ポイント 低い	全国との比較	4.9	ポイント 高い

<<指導方法に関する質問>>

■児童生徒の考えを引き出したり、思考を深めるような発問などを行っている学校の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	60.0	ポイント
昨年度との比較	1.8	ポイント 減少	昨年度との比較	40.0	ポイント 減少
全道との比較	11.5	ポイント 低い	全道との比較	36.1	ポイント 低い
全国との比較	8.6	ポイント 低い	全国との比較	34.2	ポイント 低い

■将来就きたい仕事や夢を考えさせる指導をした学校の割合

小学校	85.8	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	14.2	ポイント 減少	昨年度との比較	0.0	ポイント
全道との比較	4.7	ポイント 低い	全道との比較	1.1	ポイント 高い
全国との比較	0.7	ポイント 低い	全国との比較	1.4	ポイント 高い

<<特別支援教育に関する質問>>

■特別支援教育を取り入れた、特性に応じた指導上の工夫に取り組んでいる学校の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	100.0	ポイント
前回との比較	14.3	ポイント 減少	前回との比較	0.0	ポイント
全道との比較	10.2	ポイント 低い	全道との比較	6.7	ポイント 高い
全国との比較	9.2	ポイント 低い	全国との比較	5.9	ポイント 高い

<<家庭学習に関する質問>>

■家庭学習の取り組みとして児童が行った課題について、その後の指導改善や学習改善に生かした学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
前回との比較	12.5	ポイント 上昇	前回との比較	0.0	ポイント
全道との比較	5.8	ポイント 高い	全道との比較	12.7	ポイント 高い
全国との比較	9.4	ポイント 高い	全国との比較	15.6	ポイント 高い

■家庭学習の取組として、家庭での学習方法等を具体例を用いて指導した学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	0.0	ポイント	昨年度との比較	0.0	ポイント
全道との比較	1.8	ポイント 高い	全道との比較	8.3	ポイント 高い
全国との比較	4.3	ポイント 高い	全国との比較	9.1	ポイント 高い

質問紙調査の結果<学校質問紙>

<<教員の資質能力の向上に関する質問>>

■ 個々の教員らが、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している学校の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	80.0	ポイント
昨年度との比較	10.7	ポイント 上昇	昨年度との比較	46.7	ポイント 上昇
全道との比較	0.3	ポイント 高い	全道との比較	6.8	ポイント 低い
全国との比較	1.5	ポイント 高い	全国との比較	1.1	ポイント 低い

■ 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行って学校割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	0.0	ポイント	昨年度との比較	0.0	ポイント
全道との比較	0.9	ポイント 高い	全道との比較	2.8	ポイント 高い
全国との比較	1.5	ポイント 高い	全国との比較	5.3	ポイント 高い

■ 児童生徒および地域の現状に応じた教育課程の編成とPDCAサイクルの確立に取り組んでいる学校の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	14.3	ポイント 減少	昨年度との比較	0.0	ポイント
全道との比較	12.8	ポイント 低い	全道との比較	1.6	ポイント 高い
全国との比較	10.5	ポイント 低い	全国との比較	4.8	ポイント 高い

■ 地域等の外部の資源を活用しながら効果的な教育活動に取り組んでいる学校の割合

小学校	85.8	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	1.7	ポイント 減少	昨年度との比較	0.0	ポイント
全道との比較	11.7	ポイント 低い	全道との比較	6.8	ポイント 高い
全国との比較	9.7	ポイント 低い	全国との比較	11.5	ポイント 高い

<<「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に関する質問>>

■ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む授業を行っている学校の割合

小学校	57.1	ポイント	中学校	40.0	ポイント
昨年度との比較	30.4	ポイント 減少	昨年度との比較	43.4	ポイント 減少
全道との比較	35.6	ポイント 低い	全道との比較	51.6	ポイント 低い
全国との比較	31.8	ポイント 低い	全国との比較	48.0	ポイント 低い

■ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会を設けた学校の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	40.0	ポイント
昨年度との比較	14.3	ポイント 減少	昨年度との比較	43.3	ポイント 減少
全道との比較	6.5	ポイント 低い	全道との比較	49.8	ポイント 低い
全国との比較	0.1	ポイント 高い	全国との比較	38.6	ポイント 低い

<<ICTの活用に関する質問>>

■ 前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）等のICTを活用した授業を週1回以上行った学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	12.5	ポイント 上昇	昨年度との比較	33.3	ポイント 上昇
全道との比較	14.7	ポイント 高い	全道との比較	10.9	ポイント 高い
全国との比較	11.5	ポイント 高い	全国との比較	4.2	ポイント 高い

質問紙調査の結果<学校質問紙>

<<小・中学校の連携に関する質問>>

■中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定などの取組を行った学校の割合

小学校	85.7	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	10.7	ポイント 上昇	昨年度との比較	16.7	ポイント 上昇
全道との比較	6.8	ポイント 高い	全道との比較	17.1	ポイント 高い
全国との比較	25.1	ポイント 高い	全国との比較	33.2	ポイント 高い

■中学校（小学校）と、この調査の分析結果の成果や課題を共有した学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	0.0	ポイント	昨年度との比較	16.7	ポイント 上昇
全道との比較	22.0	ポイント 高い	全道との比較	16.9	ポイント 高い
全国との比較	46.4	ポイント 高い	全国との比較	45.3	ポイント 高い

■中学校（小学校）と、授業研究などの合同研修会を行った学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	80.0	ポイント
昨年度との比較	12.5	ポイント 上昇	昨年度との比較	3.4	ポイント 減少
全道との比較	30.5	ポイント 高い	全道との比較	1.1	ポイント 高い
全国との比較	41.8	ポイント 高い	全国との比較	12.7	ポイント 高い

<<家庭・地域・社会の連携に関する質問>>

■教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	12.5	ポイント 上昇	昨年度との比較	16.6	ポイント 上昇
全道との比較	5.1	ポイント 高い	全道との比較	8.6	ポイント 高い
全国との比較	13.3	ポイント 高い	全国との比較	16.8	ポイント 高い

■保護者や地域の人々が学校の教育活動の支援や運営に参加している学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	60.0	ポイント
昨年度との比較	12.5	ポイント 上昇	昨年度との比較	6.7	ポイント 減少
全道との比較	6.1	ポイント 高い	全道との比較	10.7	ポイント 低い
全国との比較	4.1	ポイント 高い	全国との比較	22.1	ポイント 低い

<<全国学力・学習状況調査等の活用に関する質問>>

■自校の分析結果について、学校全体の教育活動を改善するために活用した学校の割合

小学校	100.0	ポイント	中学校	100.0	ポイント
昨年度との比較	0.0	ポイント	昨年度との比較	0.0	ポイント
全道との比較	1.2	ポイント 高い	全道との比較	3.5	ポイント 高い
全国との比較	4.0	ポイント 高い	全国との比較	7.0	ポイント 高い